



一般社団法人 日本損害保険協会 助成

第15回 脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会



高次脳機能障害者を支える地域づくり



講演「高次脳機能障がい～だれでも起こりうる身近な障がい～」

東京慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科診療部長

渡邊 修 先生

活動報告

- ① 舞鶴市身体障害者福祉センター
- ② 京都府立心身障害者福祉センター 他

日本脳神経外科学会専門医、日本リハビリテーション医学会専門医
東京都高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会座長
日本脳外傷友の会顧問、東京高次脳機能障害協議会顧問
他にも東京都調布市で高次脳機能障害とその家族、ボランティアで運営するグループ「東京レインボー倶楽部」を立ち上げ、地域でのリハビリテーションの場をつくるなどたくさんの関わりをもちながらご活躍中の先生です。高次脳機能障害についても楽しくわかりやすい講演が聞けると思います。

日時

平成27年 **10月12日** 祝
午後1時30分～午後4時30分

場所

舞鶴赤十字病院
東館1階 講堂

お問い合わせ先

舞鶴市身体障害者福祉センター

☎: 0773-63-3008

京都府リハビリテーション支援センター

☎: 075-221-2611

どなたでもご参加いただけますのでぜひお越し下さい。

参加費：無料

(事前申込不要)

要約筆記あります



主催：
脳外傷・高次脳機能障害
リハビリテーション講習会京都実行委員会

後援：
舞鶴市、京都府教育委員会、一般社団法人 京都府医師会、
公益社団法人 京都府看護協会、一般社団法人 京都府理学療法士会、
一般社団法人 京都府作業療法士会、京都府言語聴覚士会、京都府精神保健福祉士協会、京都府臨床心理士会、
社団法人 京都社会福祉士会、公益社団法人 京都府介護支援専門員会、社会福祉法人 京都府社会福祉協議会、京都医療ソーシャルワーカー協会

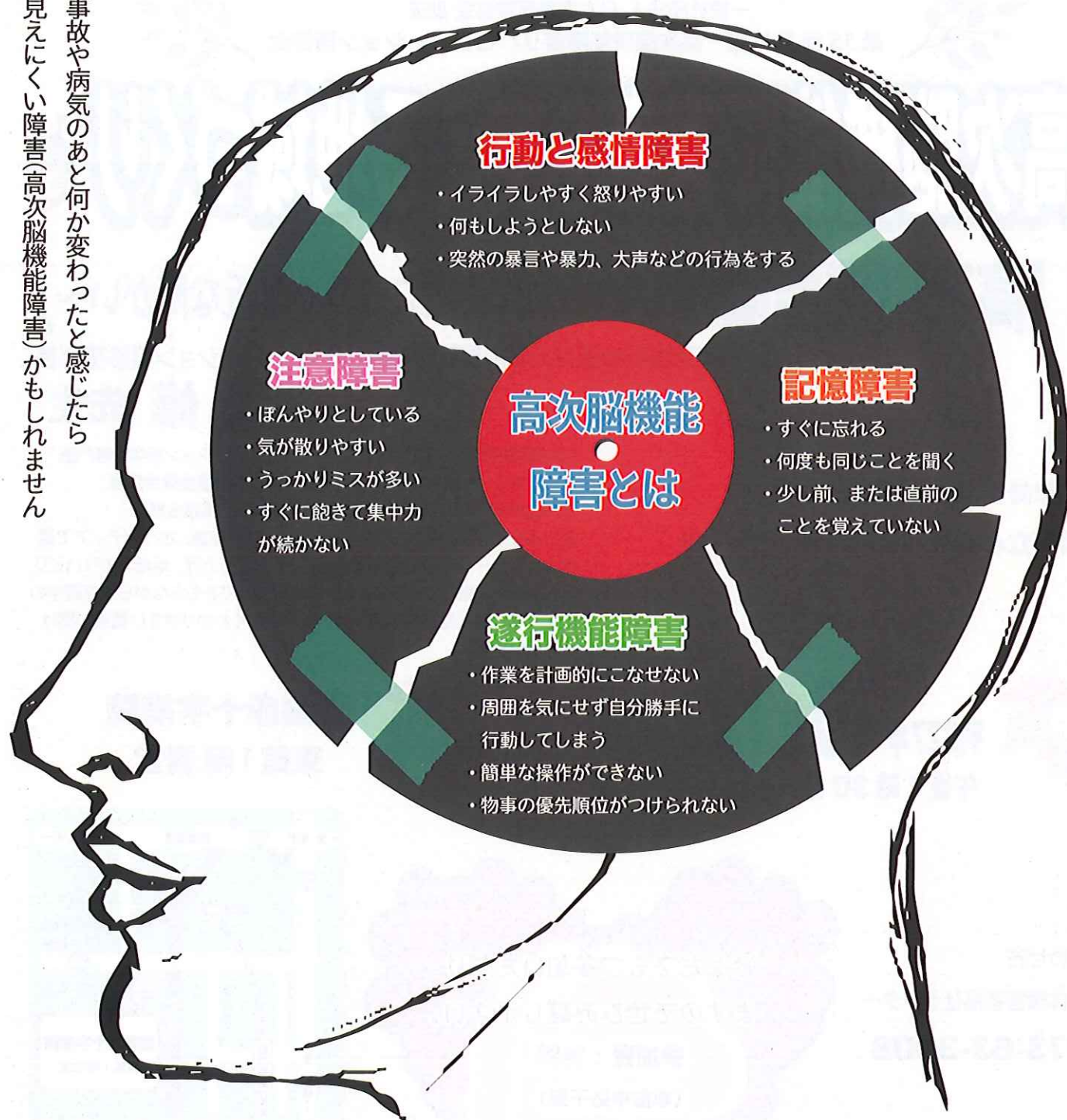
協力：

京都府、中丹東園地域リハビリテーション支援センター
中丹園地障害者自立支援協議会、中丹脳機能障害者と家族の会「さくら」



病気や事故などが原因で脳が損傷し、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などに、機能障害が起きた状態を高次脳機能障害といいます

事故や病気のあと何か変わったと感じたら
見えにくい障害(高次脳機能障害)かもしれません



行動と感情障害

- ・イライラしやすく怒りやすい
- ・何もしようとしない
- ・突然の暴言や暴力、大声などの行為をする

注意障害

- ・ぼんやりとしている
- ・気が散りやすい
- ・うっかりミスが多い
- ・すぐに飽きて集中力が続かない

高次脳機能障害とは

記憶障害

- ・すぐに忘れる
- ・何度も同じことを聞く
- ・少し前、または直前のことを覚えていない

遂行機能障害

- ・作業を計画的にこなせない
- ・周囲を気にせず自分勝手に行動してしまう
- ・簡単な操作ができない
- ・物事の優先順位がつけられない

思いもよらない事故や病気に遭遇して、様々な不安や悩み、戸惑い、ご苦労を抱えていませんか？

身体的なケガや病状は他人からみてもわかりますが、脳の傷は見えわかりません。

当事者本人も自分の症状に気づきにくく、前と変わりはないと思っていることも多いです。

性格が変わった、何が変わったかわからないけど色々うまくできなくなった、…など

外見上は問題ないように見えても、脳を損傷したことによって「高次脳機能障害」の症状があるかもしれません。

病院でのリハビリが終了し、退院して家庭での生活や仕事に復帰した後に、

現れる変化に本人や家族、周囲が戸惑い、誤解し、しばしば対人場面でトラブルになることもあります。

ひとりで悩まずに相談してみませんか？

周りのサポートや対応を知ることにより、生活がしやすくなることがあります。

できること、できないことがわかり、就労につながることもあります。